

Japan Society on Water Environment

水		環		境
企	業	・	研	究
機	関	情	報	誌

2025年1月



公益社団法人日本水環境学会

2025年 水環境企業・研究機関情報誌の発刊について	
公益社団法人日本水環境学会 会長 池 道彦	1
企業・研究機関情報① 株式会社NJS	2
企業・研究機関情報② オリジナル設計株式会社	4
企業・研究機関情報③ 水ing株式会社	6
企業・研究機関情報④ メタウォーター株式会社	8
企業・研究機関情報⑤ いであ株式会社	10
企業・研究機関情報⑥ オルガノ株式会社	11
企業・研究機関情報⑦ カナデビア株式会社	12
企業・研究機関情報⑧ 三機工業株式会社	13
企業・研究機関情報⑨ 株式会社神鋼環境ソリューション	14
企業・研究機関情報⑩ 水道機工株式会社	15
企業・研究機関情報⑪ セントラル科学株式会社	16
企業・研究機関情報⑫ 株式会社ダイキアキス	17
企業・研究機関情報⑬ 株式会社中央設計技術研究所	18
企業・研究機関情報⑭ 株式会社千代田コンサルタント	19
企業・研究機関情報⑮ 月島 JFE アクアソリューション株式会社	20
企業・研究機関情報⑯ 月島ジェイテクノメンテサービス株式会社	21
企業・研究機関情報⑰ 内藤環境管理株式会社	22
企業・研究機関情報⑱ 株式会社日水コン	23
企業・研究機関情報⑲ 地方共同法人日本下水道事業団	24
企業・研究機関情報⑳ 日本水工設計株式会社	25
企業・研究機関情報㉑ 株式会社日立プラントサービス	26
企業・研究機関情報㉒ 株式会社フソウ	27
企業・研究機関情報㉓ 株式会社明電舎	28
企業・研究機関情報㉔ 前澤工業株式会社	29
日本水環境学会年会における学生会員向けの企画について	
公益社団法人日本水環境学会 産官学協力委員会	30
公益社団法人日本水環境学会 団体会員	32
公益社団法人日本水環境学会について	33

## 2025年 水環境企業・研究機関情報誌の発刊について

公益社団法人 日本水環境学会  
会長 池 道彦

当学会は1971年に前身である日本水質汚濁研究会として設立されてから、五十有余年の歴史を重ねて参りましたが、その目的は定款（2012年制定）において「水域の清浄化等水環境に関する分野の学術的調査・研究の推進及び知識の普及を図り、もって良好な水環境の保全及び創造に寄与し、並びに学術文化の発展に貢献すること」とされています。また、設立50周年（2021年）を機に水環境学会将来ビジョンを定め、「未来社会における人間の営みと水環境との調和」を大きな目標とした多方面の取り組みを展開しているところです。

「良好な水環境の保全・創造」の重要性は疑う余地のないことですが、これらを達成することは容易ではありません。水環境とその周辺で生じている多岐に渡る問題を見出し、あるいは予見して解決し、よりよい方向に転換していくためには、水環境のダイナミズムを深いレベルで理解する研究・調査や、課題解決に資するハード・ソフト技術の開発、それらの知識や技術の実践・実装が求められます。当学会では、産官学の各セクターの研究者・技術者が、このようなさまざまな分野で活躍していますが、未来の「人間の営みと水環境との調和」を実現するためには、次世代を担う学生会員の皆様に御参画いただくことが不可欠です。

そこで、当会の学生会員の皆様が、将来の活躍の場をイメージし、自らのキャリアビジョンを構築・具体化をしていくための一助となるべく、水環境に関わる様々な業界の仕事の内容や魅力、個別企業の業務内容に関する情報を取りまとめた本誌を継続的に発刊しています。本誌を通じ、学生会員の皆様が、社会が求めている水環境に係る研究や技術と、それを生み出している科学者・技術者の世界を知る機会を得て、将来は、水環境分野の仕事に携わり、この分野のさらなる発展を通じて社会に貢献していただけることを期待しています。

2025年1月吉日

# 株式会社 NJS

## 日本で最も歴史のある「水のコンサルタント」です。

NJS は戦後の復興期である 1951 年に上下水道の技術者を養成する私塾として創業して以来、上下水道の事業計画や施設設計を提案している「水コンサルタント」のリーディングカンパニーです。

創業以来、生活に欠かせない安全な水を供給するために、また、良好な水環境を創造するために、全国の上水道施設を設計することにより国土の成長を支えてきました。また、高度経済成長期には、社会的な問題であった公害問題に対して、水処理や水質の専門家として日本中の公共用水域の水質保全に貢献してきました。



## 上下水道インフラの新たな課題

現在、国内の上下水道インフラは既に高度に整備されています。「水コンサルタント」の役割は終わったのでしょうか？いいえ、高度経済成長期に整備された多くの施設が耐用年数を迎えているほか、少子高齢化の影響を受けて地方自治体の人材不足や財源不足が深刻化しています。また、社会の変化に伴う新たな環境ニーズへの対応が急がれています。さらに、気候変動の影響や巨大地震・津波の発生をうけて、災害対策も急務とされています。そして、課題は国内のみならず、世界の上下水道未普及地域の生活および環境改善も求められています。このように、水インフラは多くの課題を有しています。



NJS は、「健全な水と環境を次世代に引き継ぐ」と掲げ、得意分野である上下水道の計画・設計のノウハウをさらに発展させ、上下水道のライフサイクルを通じた効率的な管理運営を実現するコンサルティングとソフトウェアサービスを提供しています。

## 課題に対する NJS の取組の一例

### 【上下水道における省エネルギー対策】

上下水道施設は、機械・電気設備が多用されており、エネルギー消費産業の性格を有しています。施設の省エネルギーを推進するために高効率な電動機・インバータ装置・変圧器など機器の導入や効率的な水運用などのマネジメントの工夫が考えられます。さらに、小規模水力発電や太陽光発電などの新エネルギー導入も有効です。

NJS では省エネルギー、新エネルギーの設備の導入計画策定や施設の設計を行い、地球温暖化防止に貢献する上下水道システムの構築を支援しています。

### 【廃棄物処理基本計画策定】

循環型社会の実現に向けて、ごみ、し尿・汚泥、排水・汚水等について地域に最適な 3R (Reduce、Reuse、Recycle) と適正処理の総合的な計画を策定します。さらに、エネルギー利用や、廃棄物処理施設以外との連携等も考慮した計画策定支援を行います。そして、今後重要となる廃棄物部門の会計管理など事業運営の分析・計画作成も提案します。

### 【環境影響評価】

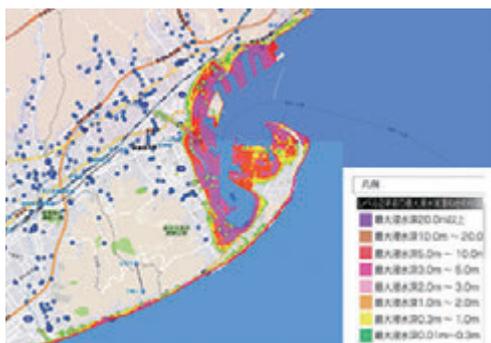
下水処理場やごみ焼却施設等は、生活環境の向上や公衆衛生の確保のために建設されるものですが、周辺環境へ影響が生じる場合も考えられます。そこで、環境への影響を事前に予測・評価し、安全・安心を担保するための支援を行います。

### 【再生可能エネルギー地産地消計画策定】

バイオマスや太陽光等の再生可能エネルギーは地域に存在するクリーンなエネルギーです。NJS では地域の再生可能エネルギー賦存量・利用可能量とエネルギー需要量の両者の変動を把握し、地域のエネルギーロードマップに応じた需給バランスの取れた再生可能エネルギー地産地消計画の策定を行います。

### 【災害対策】

地震や豪雨による災害リスクが高まっています。施設の増強による防災対策のほか、被害の軽減を図る減災対策やソフト対策を進める必要があります。NJS は、上下水道施設を中心とした地震、浸水、津波対策の策定や ICT と浸水シミュレーション技術を活用したリアルタイム浸水対策システムを提供しています。



津波浸水予測



リアルタイム浸水危険度推定

## 水インフラの問題解決のプロとして成長してみたい方へ

NJS はもともと水インフラ設計技術者の育成を目的に生まれた会社です。人材育成に関しては大きな自負があります。

より「高い」技術を、という点では教育環境の充実に力を入れています。当社独自のNJS-OJTシステムや技術研修、技術士資格取得支援、そして海外研修を準備しています。また、より「確実に」という点では、新入社員には「どんな風に技術を習うべきか」、指導役の社員には「どんな風に指導すべきか」といった教育にも注力しています。加えて、多様な働き方の実現する制度として70歳定年制、フレックスタイム制、在宅勤務制度や働きがいがあるような公平かつ透明な人事制度があります。「長くモチベーションを保ち続けられる」ことが目的です。

働きやすい環境を整備していますが、最後は自身で段階ごとの「壁」を越えていくことが必要です。最後までやり切るのが一番大切だと思います。初めから完璧を目指し時間をかけすぎしてしまうよりは、できる範囲でどんどん進めていくことが大切です。

コンサルタントの事業領域は、時代の要請に合わせて常に広がります。

技術力で水環境の問題解決したい、新しいことに挑戦したい、NJSにはそれを実現できる環境があり、応援する仲間もいます。

NJSは若い方のエネルギーを求めています。



## 株式会社NJS

### ■問い合わせ先

株式会社NJS 管理本部 人事総務部 採用担当

TEL : 03-6324-4362 E-mail : saiyo@njs.co.jp

採用情報はこちらから！  
エントリー受付中です。



# オリジナル設計株式会社

## 市民生活を支える地域の「ホームドクター」です

オリジナル設計は上下水道分野を得意としている建設コンサルタント会社です。私たちは様々な社会インフラに支えられて生活していますが、その設備や構造物に関する調査・計画・設計などを行うのが建設コンサルタントの役割であり、人々の生活を支えるために必要不可欠な仕事です。当社は、主として『上下水道施設』の計画・設計・施工監理や各種の調査を全国の自治体から受注しています。また近年多発する集中豪雨や台風・地震など自然災害への対策だけでなく、実際に起きた災害に対する早期復旧支援なども私たちの仕事です。土木・建築・機械・電気・情報システムなど各分野のプロフェッショナルが協力し合い、自治体が抱えるさまざまな課題の解決をサポートしています。いわば、上下水道に関する地域のホームドクター、それが私たちオリジナル設計なのです。



## 地域にとっての「最適解」を見つけるのが仕事です



私たち建設コンサルタントの仕事は、エンジニアとしての専門知識をもとに、現状を客観的に観察し、問題点や原因を分析して、顧客や社会のニーズに応える最適解を導き出して提案することにあります。私たちは、各自が専門分野を有しつつ関連分野の知識・経験を深め、自身の技術力・人間力を高めながら同時に社会貢献も果たせることにやりがいや誇りを感じています。その活動分野は国内の上下水道事業を基軸として、ASEAN 諸国や大洋州など海外における水環境や衛生環境の改善提案・調査業務にも幅を広げています。

## やりがいを感じながら長く働き続けられる環境があります

当社では、社員の能力を最大限に発揮できる組織風土の醸成と職場の活性化を進めています。例えば「社長意見交換会」では、社長自らが全社員と対話し、会社の現況を説明するとともに社員からの改善提案を聞き取り、迅速に実現化を図っています。

また、有休取得奨励日の設定、社内ネットワークのWi-Fi化によるフリーアドレス化、時差出勤制度や在宅勤務制度の導入など、各個人のライフスタイルを尊重しながら生産性向上とワークライフバランスの両立を図る「フレキシブルワーク」（柔軟性のある働き方）を進めています。さらには、ウェアラブル端末の配付、がん早期発見サポートなどを通じ、従業員の健康管理を経営的な視点で考え戦略的に実践し、「人財」を重視した「ウェルビーイング経営」を行っています。



## Our Voice –「水インフラを支える」社会貢献につながる仕事–

大学時代に、尼崎運河の水質改善の研究を通じて水環境に興味を持ち、上下水道施設の設計ができる企業を探しました。

当社は、「フリーアドレス」や「時差出勤制度」など柔軟な働き方を重視しており、仕事と職場環境が自分に合っていると感じました。また、同じ大学の先輩が在籍していたことも安心材料となりました。

私は、主に下水処理場やポンプ場の耐震化設計に取り組んでいます。災害に強い施設を構築することで、社会に貢献できることにやりがいを感じています。業務には、土木・建築・機械・電気など多くの分野の専門家が関わり、各担当者とのコミュニケーションや総合的な判断が重要です。このプロセスを通じて、異なる視点や幅広い知識を吸収できる点も魅力です。また、自分の設計や提案が顧客に認められることが達成感につながります。将来的には「この人に聞けば間違いない」と信頼される人材を目指しています。

入社前は建設コンサルタントに堅苦しいイメージを持っていましたが、入社後はゴルフやマラソンなどのイベントに参加し、楽しく過ごしています。また、自分から誘うこともあり、社内の交流を深めています。さらに、当社は「健康経営」の一環としてアップルウォッチを活用した運動イベントを実施しており、日々の運動意識が高まり健康維持につながっています。定期的な女子会や若手向けの企画もあり、非常に過ごしやすい職場環境だと感じています。



## Our Voice –自分らしく働ける職場–



学生時代、土木・建築を勉強している中で、私たちの生活基盤を支えているインフラの中で一番身近な「水」に関わる仕事に携わりたいと思い、当社に興味を持ちました。インターンシップ見学で訪れた際は、事務所が綺麗で明るく、女性もバリバリ働いているのを見て自分が働くイメージが湧きました。

当社で日々感じていることは、私生活とのバランスを考慮した仕事のやり方ができる職場であるということです。私自身、在宅勤務、時差出勤、カスタムメイド勤務（業務・成果に支障のない範囲で全国どこでも働ける制度）を利用しています。私がこのような働き方ができるのは、制度はも

ちろん、私個人の考え方を理解し親身に対応してくれる上司がいてくれるからです。ここは他の会社では少ない強みだと思います。

私が担当している仕事は主に、下水処理場やポンプ場施設の機械設計業務です。老朽化設備の更新にあたり、実績・維持管理者の要望から様々な設計諸元、他職種との関連等多面的に検討する必要がありますので、理解しなくてはならないことが多く大変ですが、その処理場に合った機種を検討を行う作業はマニアックで奥深いので面白さを感じています。自分が決めた設備が実際に処理場に設置され、水処理工程を支えていることは嬉しかったですし、達成感がありました。まだまだ勉強中ですが、いずれは機械職のプロフェッショナルとして活躍する人材になりたいです。

**OEC** オリジナル設計株式会社

■問い合わせ先  
新卒採用担当  
TEL：03-6757-8801



E-mail : [shin\\_saiyou@oec-solution.co.jp](mailto:shin_saiyou@oec-solution.co.jp)  
URL : <https://www.oec-solution.co.jp/6recruit/>

人は財産

# 水 ing 株式会社

## 多くの実績と信頼される技術力で事業展開

当社グループ（水 ing 株式会社、水 ingAM 株式会社、水 ing エンジニアリング株式会社）は、公共水インフラを中心とした様々な水処理施設に関わる設計、調達、建設、研究開発、運転維持管理、メンテナンス、薬品開発など、90年以上にわたる多くの実績と信頼される確かな技術力を保有しています。

## 全国各地における水インフラの課題解決に貢献

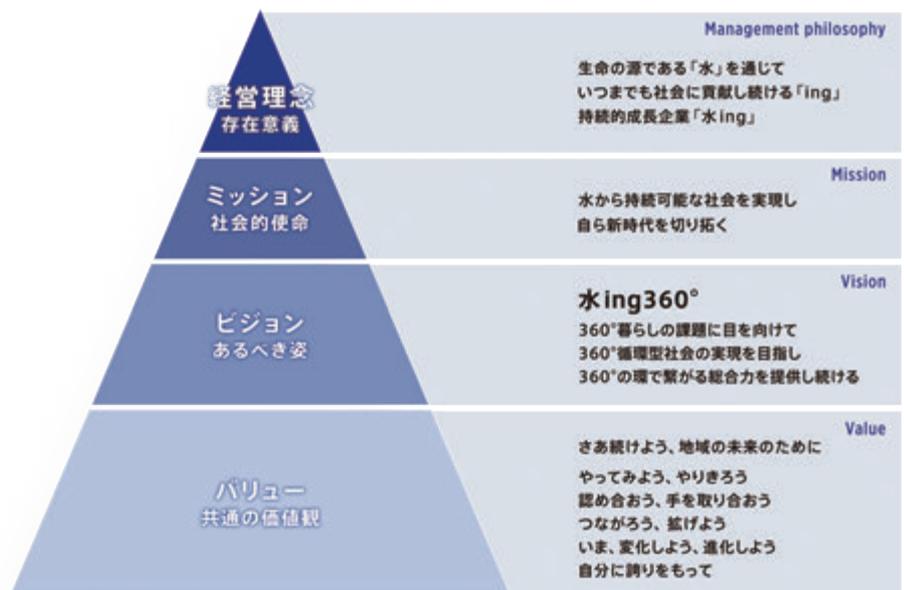
現在、日本の水インフラは「人口減少」「施設の老朽化」「財政難」「技術者不足」など、様々な課題を抱えています。当社では民間主導型の公民連携水道事業会社「水みらい広島」「水みらい小諸」の設立などで、その課題解決に挑戦してきました。

また、全国およそ300か所の水処理施設の多様なデータや指標を活用したAI・IoT技術と、施設の建設とその運転・維持管理で培ったエンジニアリング技術を掛け合わせた新システムの開発・資源循環などで、地域のために貢献し続けています。

## 企業理念体系（水 ing バリュー）

「経営理念」「ミッション」「ビジョン」「バリュー」の4つで構成されており、経営理念のもと定めたミッション（社会的使命）および、その達成のビジョン（あるべき姿）を、バリュー（共通の価値観）を駆動力として追い求めます。

水 ing グループでは、誰もがどんな場面でも「水 ing バリュー」を体現することを目指しています。



水 ing 企業理念体系

## 30年後、街づくりまで担う「水」のプロ集団へ変革

当社グループでは、2020年度より30年後の社会をイメージした「水 ing 360°」をビジョンに掲げました。これは、2050年には様々なステークホルダーと連携し、「水」を起点にした循環型社会を掲載する、つまり「水道・下水道などのインフラが無ければ、街や地域は消滅してしまう、だからこそ「水」を中心とした新たな街づくりに貢献していこう」というものです。

この実現のために何よりも大切なのが、当社グループの最大の資産である「人」の育成です。内定期間中の課題提出に始まり、入社後の集合研修、配属後のOJT研修やフォロー研修、キャリア支援などを通じて社員の能力や知識の向上を支援しています。



水 ing 株式会社  
企画開発本部  
基盤技術研究センター  
プロセス技術研究部  
永井 綾乃さん

大学は土木工学科に所属し、インフラ全般について広く学びました。特に研究室では、コンクリートの腐食に関する研究を専攻し、老朽化に直面しているインフラの実態について知ることができました。

元々下水道そのものに興味があり、卒業後は、その要である下水処理場に関わる仕事をしたいと考えていました。水 ing を希望した理由は、水処理施設の計画段階から携われることや、DBO（公設民営による公共施設の整備手法）の実績が多い企業だったからです。

現在は、微生物の働きで排水中の有機物をメタンに変換してエネルギー回収する技術の開発や、当社が過去に納入したプラントなどの運転支援業務をしています。学生時代には知りえなかった知識が大半ですが、勉強しそれら理解できた時はとても楽しく、より知識を深めたいと感じます。また、試験中先輩と話し合いながら試験条件を定め、狙ったデータが出たときは、特にやりがいを感じます。

今後は「水」に関わる様々な知見が多い当社グループの強みを活かし、部署を横断して新しい装置やシステムを開発したいと思っています。たとえ私のように学生時代に「水」分野を学んでいなくても、当社グループには必ず活躍できる場があると思います。

水 ing エンジニアリング株式会社  
エンジニアリング事業本部  
PE 技術第二統括部  
第二統括 PE 技術二部  
西畑 和貴さん



現在はメタン発酵プロセスにより、生ごみや汚泥からバイオガスを生産する施設の設計業務に携わっています。設計業務の内容は、プロセス計算や設計だけでなく、プロジェクト全体のスケジュール調整、技術探索など多岐に渡ります。

大学では環境工学を専攻し、水処理をはじめ環境問題に関して、大学院では生物による排水処理プロセスを主に実験によって検証する研究室に所属し、さらに深く水処理について学びました。純粋な知識も多く学びましたが、実際に手を動かして水処理プロセスを確認できたこと、教授や専門家から水処理の考え方を吸収できたことは得難い経験となりました。

昔から環境問題に貢献する仕事に携わりたいと考えていました。特に水 ing グループは、水みらい広島やこうべハーベストといった業界内でも先進的な取組みを行っており、社会問題・環境問題への貢献という点で興味を惹かれました。今は大きなプロジェクトを自身の部署が主導して進め、実際にひとつの施設が完成することにやりがいを感じています。

人口減少が進む中、新たな視点やこれまでにない価値観を取り入れることで、今後の排水処理・環境業界はさらに重要性は増していくと考えています。就活される皆さんが、当社グループに興味を持っていただけたらうれしいです。

**水 ing 株式会社**

■問い合わせ先  
採用・研修部  
TEL：03-4346-0603  
E-mail：saiyo@swing-w.com



# メタウォーター株式会社

## 会社紹介

メタウォーター株式会社は2008年4月に、日本で最初の水・環境分野における総合エンジニアリング企業として設立しました。以来、人々の生活や産業になくてはならない「水」に携わる企業として、機械技術、電気技術、ICT、AI、プラントの運転・維持管理ノウハウを融合し、国内外の上下水道、資源リサイクルの各分野で事業を展開するとともに、環境保全や地域貢献の取り組みを進めています。

また、長期ビジョンとして

- ◆ 「一緒に仕事をしたい会社 No.1」
- ◆ 「技術・サービスで No.1」
- ◆ 「働きたい会社 No.1」

を掲げ、世界の水環境の改善・持続に貢献できる企業を目指します。



## 先輩社員の声

### ■「環境問題を解決して社会の役に立ちたい」との思いから、大学・大学院で環境工学を専攻

私は小さい頃から地球温暖化などの環境問題に興味があり、大学でも「環境問題の解決につながる研究は、社会の役に立っているのでは」という思いから環境工学を専攻しました。私が主に学んだのは、環境問題の主対象となる水・エネルギー・廃棄物・大気などの各論です。大学から大学院にかけて同学を学んでいく中で、水処理は特に身近なものになっていきました。



環境エンジニアリング事業本部  
水環境事業部 水再生技術部  
吉原 光さん  
(北海道大学大学院環境創生工学専攻修了)

### ■交換留学先のインドで下水処理の必要性を実感、水処理業界への就職を目指すきっかけに

大学院時代にインドの大学に交換留学をしたのですが、当時のインドはインフラの整備があまり進んでいない状況で、道路も未整備の場所が多く、下水処理施設に至っては日本の水準には全く達していないことに驚いたんです。下水処理の勉強をしながら日本の生活では意識していなかった、その必要性や重要性を実感する機会になりました。この経験が水処理業界に就職することを目指すきっかけになりました。

### ■下水処理のトータルソリューションに携わるチャンスが期待できるメタウォーターに入社

就職活動の当初は「水処理に携わりたい」と漠然と考えていて、コンサルティング会社から、上・下水や工業廃水のプラントエンジニアリング会社まで幅広く応募したんです。でも就活を続けるうちに「汚れた水をきれいにするのが面白い」「生活に身近な水処理に関わりたい」という気持ちに気づき、下水処理の仕事に就こうと決めました。さらに、施設の設計から建設まで携わることに魅力を感じて、下水処理プラントを手がけるエンジニアリング会社に的を絞りました。

そうした会社の中で、メタウォーターは企業規模が大きく、事業範囲も広いので、「下水処理のトータルソリューションを提案するプロジェクトに携わる機会も期待できるのでは」と思い、入社を志望しました。水処理業界でトレンドになり始めていたPPP<sup>1</sup>事業に最も実績があったのも決め手になりましたね。

\* 1 Public Private Partnership : 公民連携



### ■サテライトオフィスなどのテレワーク環境が充実、自由なワークスタイルで仕事ができる

当社は、テレワークの環境が充実しています。本社はフリーアドレスで、配属人数分の座席もないくらい、テレワークが推奨されているといえます。在宅はもちろん、全国各地のサテライトオフィスや、会社契約のシェアオフィスも利用できるのも、場所に制約されない、自由なワークスタイルに対応しています。設計部門も現場などに外出することが多く、デスクワークやオンライン会議などが必要なときに近隣のサテライトオフィスを使用するのは便利です。

### ■新技術を使ったプロジェクトで、省エネ効果のある「送風機」の最適な設計に挑む

現在、「B-DASH プロジェクト」\*<sup>2</sup> で実証された新技術を活用したプロジェクトで、「低減圧力対応型送風機」の設計を担当しています。送風機は、下水中の有機物を分解する微生物を活性化させるために必要な空気を送る重要な設備です。しかし、下水処理で最も多くの電力を消費する設備でもあるため「送風機の電力量をいかに抑えるか」が重要な課題です。B-DASH プロジェクト要素技術の一つに、省エネを目的とした送風機の吐出圧力の制御が挙げられますが、「設備の負荷（必要吐出圧力）変動を考慮した上で、どうすれば最も効率的で、省エネ効果の高い送風機の最適な設計ができるか」と日々、挑戦しています。新技術を使った新しい設備を立ち上げるプロジェクトであり、難易度も高い仕事ですが、とてもやりがいがあります。ゼロから検討を重ねて設計を詰めていくことに面白さも感じます。

\* 2 Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project の略。国土交通省が 2011 年度より実施している「下水道革新的技術実証事業」の通称。



### ■入社 1 年目に初めて主担当を任されたプロジェクトの経験が自信に

入社 1 年目の夏、プロジェクトの主担当を初めて任されました。プロジェクトの主担当には、機器や配管の設計、図面の作成から、調達部門への発注依頼、現場代理人との連携、お客さま対応、さらに設備の試運転まで多岐にわたる業務があります。当社では通常、主担当を初めて経験する際は、先輩社員が過去に手がけた類似工事を担当することが一般的です。しかし私の場合は、社内でも設計事例の少ない設備を任されることになり、分からないことも多く、試行錯誤の連続でした。同じ部署の先輩方はもちろん、営業部門や電気部門など他の部署の方々のサポートもあり、この挑戦を乗り越えることができました。この経験は、その後の大きな自信となっています。

### ■10 年後は、自ら新技術を生み出し、下水処理施設全体を担う技術者になりたい

将来の姿を考えたとき、目標が 2 つあります。一つは、自分で新しい技術を生み出す側に立ちたいということです。例えば、現在注目されている省エネや資源回収に関する技術を生み出したいです。もう一つは今後、増加が見込まれる PPP 事業などの大型プロジェクトにおいて、下水処理施設全体の設計から維持管理までに関わる技術者になることです。そのためには既存の枠にとらわれることなく、新しい技術を取り入れることに興味を持って取り組んでいきたいですね。



現地工事の様子

### ■チャンスがあれば何でも経験し、「自分は何に興味あるのか」を見つけてほしい

私が就職活動で水処理業界に絞れたのは、インドへの留学がきっかけでした。皆さんもチャンスがあれば何でも経験して、「自分は何に興味があるのか」を見つけてほしいですね。

また、いろいろな企業を受けて、OB や OG の先輩社員に、たくさん話を聞いてみてください。会社説明会やホームページだけでは分からない、職場環境や雰囲気などを知る機会になると思いますよ。

# METAWATER

続ける。続くために。

#### ■問い合わせ先

メタウォーター株式会社 採用担当

TEL : 03-6853-7327

E-mail : saiyou@metawater.co.jp



# いであ株式会社

## “暮らしと環境を支える” いであのサービス

当社は、安全・安心で快適な社会の持続的発展と、健全で恵み豊かな環境の保全と継承を支えることを通じて、自然と社会が調和した新しい未来の実現に貢献しています。

皆さんも「いであ」の一員として社会課題の解決に取り組んでみませんか？

### “安全・安心で快適な社会を支える”

社会インフラの老朽化や、近年頻発する自然災害への対応など、社会基盤整備においては、真の安全・安心な社会の構築に向けた取り組みが求められています。当社は、社会基盤整備において、計画・調査から、設計、対策、維持管理を行い、安全・安心で快適な社会の実現に向けて取り組んでいます。

### “健全で恵み豊かな環境の保全や継承を支える”

近年、従来環境問題に加え、地球温暖化、生物多様性の減少や、マイクロプラスチックによる海洋汚染、新たな化学物質問題など、環境問題はますます複雑・多様化し、グローバル化しています。当社は、わが国の環境コンサルタントのリーディングカンパニーとして、企画・調査から対策立案までを一貫して行い、さまざまな環境問題の課題解決に取り組んでいます。

### “人々の健康や暮らしを支える”

当社は民間初の気象予報会社として、気象予報や防災情報、健康予報など、気象関連情報を提供し、人々の健康や暮らしを支えてきました。今では、人を取り巻く環境から食の安全・安心を支える食品の衛生関連検査や機能性評価、さらには癌をはじめとする難治性疾患の診断・解析、万能細胞の解析から創薬支援など、最先端の生命科学分野への展開にも取り組んでいます。



親水公園の計画・設計



ROVによる水中調査

## 人を育てる社風、働きやすい職場づくり



社会から信頼される企業として、当社のサービスを実現するためには、なによりも企業を構成する「人」の成長が欠かせません。当社では「人としての成長」「技術者としての成長」の二つを掲げ、キャリアに応じてしっかりサポートできる研修制度を設けています。

働きやすい職場づくりへの取り組みにも積極的に取り組んでおり、これまで「健康経営優良法人2024」「くるみん」「えるぼし」に認定されました。女性だけでなく、職員みんなが働きやすい職場になるよう、日々、社員と意見交換しながら職場環境の改善を進めています。



いであ株式会社

■問い合わせ先

管理本部 人事部 採用担当 日比

TEL : 03-4544-7600

E-mail : recruit-quay@ideacon.jp URL : <https://www.ideacon.co.jp/>



# オルガノ株式会社

## 総合水処理エンジニアリング

オルガノは「水で培った先端技術を駆使して、未来をつくる産業と社会基盤の発展に貢献するパートナー企業としてあり続けます」を経営理念に、地球という惑星に与えられた命あるものすべてに共通の財産である水とともに、水を理解する心と、水を生かす技術を大切に育み続けています。生命の源「水」がもたらす恩恵を、社会の基盤づくりから先端産業、そして毎日の暮らしの中へ届ける水処理の総合エンジニアリング企業として、美しい地球環境との共存と共生に貢献しています。

またオルガノは創業以来 70 年以上に亘って水処理技術を磨き、多種多様なものづくりの現場に、求められた「水」を提供することで、日本の産業発展を支えてきました。

今ではオルガノの事業の 9 割は、“社会”と関わりが深い産業分野の売上が占め、電子機器、発電所、医薬、化学製品、食品など様々な工場でオルガノの水処理技術が活躍しています。オルガノはこれからも社会にとっての「水」の価値を高め、「水」の在り方と可能性を模索し続けます。



## 日々の生活と産業の発展をサポート—オルガノの事業分野—

### 1. 水処理エンジニアリング事業

大型水処理プラントを工場、発電所、浄水場などに建設するプラント事業と、プラント納入後のメンテナンスや改造、運転管理に関わるソリューション事業があります。

プラント事業では、EPC（Engineering：設計、Procurement：調達、Construction：建設）の遂行能力が求められます。世界中から最適な製品、技術を結集し、時には自ら新しい技術を生み出していくことで、お客様が求める「水」を提供します。お客様が求める「水」やプラントの立地条件は毎回変わるため、オーダーメイドで製品を提供します。

### 2. 機能商品事業

キャビネット型やデスクトップ型など中小型の純水製造装置や排水処理ユニット、イオン交換樹脂、高機能膜等の機能材、水処理薬品、食品添加物などの製品を販売します。レディメイドの製品を扱い、お客様ニーズを先取りした製品を提供します。

## 水で世の中に応える

上下水分野のみを手掛ける会社、純水だけを扱う会社、排水処理だけを扱う会社、水処理膜を製造する会社、ポンプを製造する会社など世の中に水ビジネスに関わる会社は多数ありますが、オルガノは純水から排水まで、プラントから小型水処理装置、水処理薬品まで水処理業界で幅広く活躍しています。

私たちは水の在り方をサイエンスとテクノロジーで追求し、産業、生活、研究など様々な分野に「水」の提案を行っています。

皆さんも私たちと「水」の可能性に挑戦してみませんか。



## オルガノ株式会社

■問い合わせ先

経営統括本部 人事部 採用担当

E-mail : [organo-saiyou@organo.co.jp](mailto:organo-saiyou@organo.co.jp) URL : <https://www.organo.co.jp/>



# カナデビア株式会社

## 「カナデビア」ってどんな会社？

### 技術の力で、人類と自然の調和をめざして

当社はこれまで「日立造船」という社名でしたが、2024年10月1日より「カナデビア」に社名を変更しました。「カナデビア」とは、日本語の〈奏でる〉と“道”を意味するラテン語〈via〉を組み合わせた造語です。1881年の創業から約140年経った今、「技術の力で、人類と自然の調和に挑む」というブランドコンセプトのもと、新たな一歩を踏み出すことにしました。そんな当社では、「脱炭素」「資源循環」「安全で豊かな街づくり」という3つの事業分野でグローバルにビジネスを展開しています。水処理事業の分野では、汚泥再生処理センターをはじめ、上下水道、産業排水処理システムなどの設計・施工を行っており、国内だけでなく海外にも実績があります。このような事業を通じてサステナブルな社会を実現するために、当社はさまざまな社会課題の解決に貢献しています。



## 高い技術力とチームワークでプロジェクトを完遂する



し尿や浄化槽汚泥を処理する汚泥再生処理センターでは、固形物や水質汚濁物質が多量に搬入されるため、それらを処理するためには高い技術力が求められます。当社は日本で初めてし尿の無希釈処理を可能にした独自システムを開発し、汚泥再生処理センターの設計から完成まで一貫して取り組んでいます。

水処理事業のお客様は自治体や民間企業など、多岐にわたります。お客様やコンサルタントの方と入念に打合せし、さまざまな要望や処理する廃水の特性を考慮してオーダーメイドで施設の設計、施工します。受注から完成まで2～3年ほどかかる施設もあるため、粘り強く社内外と調整しながら担当業務をやり遂げる力が求められます。部署の垣根を越えたプロジェクトチームが一体となり、完成に向けて日々業務に励んでいます。

## 一人ひとりにしっかり向き合いながら、世界に通用する人材へ

水処理事業の関連部署には若手社員が多く在籍しています。入社後2年間は新入社員一人ひとりに指導員がつき、実務を通じた指導により実践的な知識やスキルを身に付けることができます。

当社は長い歴史と実績を積み重ねてきましたが、さらに飛躍していくためには既存のノウハウや考え方にとらわれない新たな視点・発想が欠かせません。世界的な環境問題の解決に向けて、熱意をもって取り組んでいける方と一緒に働けることを楽しみにしています！



**Kanadevia** カナデビア株式会社

Technology for people and planet

■問い合わせ先  
人事部 採用グループ

TEL : 0120-46-7518 / 06-6569-0019  
E-mail : hq-saiyo@kanadevia.com



# 三機工業株式会社

## サステナビリティ経営を推進します！

三井グループの主要企業の1つとして設備業界を牽引してきたリーディングカンパニーであり、1925年の創業以来、社会インフラにかかわる多様な要素技術を活かして社会に貢献する企業です。水処理施設、廃棄物処理施設などの環境システム事業をはじめ、ビル空調、産業空調、電気、スマートビルソリューション、ファシリティシステムなどの建築設備事業、コンベヤ、搬送システムなどの機械システム事業を行っています。



多岐にわたって展開する事業そのものが、世界的な潮流であるサステナビリティの追求に合致していると認識しており、サステナビリティ方針を定めるとともに超長期ビジョン「2050年の姿 選ばれ続ける三機へ！」を掲げました。

## 多様な人財が能力を発揮する働きやすい職場へ！

当社が創るものは、一つとして同じものはありません。まさにすべてがオーダーメイドの世界です。お客さまからいただいた仕事を通して、お客さまの潜在的ニーズでもある社会の課題を解決しています。そのため当社では、コミュニケーションを重視して「人財」を育て、その能力を最大限に発揮できる働きやすい職場環境づくりを行っています。

国籍や性別にかかわらず多様な能力や個性を持つ人財の採用に取り組んでおり、9か国128名が在籍しています。人事制度を改正し、定年延長や定年後再雇用制度や職種転換制度だけでなく、ハンディキャップをお持ちの方や女性が働きやすい職場環境を整備しており、子育てサポート企業として「くるみん」など多くの認定をいただいています。

## 大きなプロジェクトに関わる機会もたくさんあります！

### （世界初稼働の過給式流動焼却炉）

東京都日野市にある浅川水再生センターに、世界初稼働となる当社の「ターボ型（過給式）流動焼却炉」が導入されました。このシステムは、独立行政法人土木研究所、独立行政法人産業技術総合研究所、月島JFEアクアソリューション株式会社と共同で研究開発したもので、従来システムに比べ、電力消費量を約60%削減する画期的なシステムです。



### （南極地域観測隊への隊員派遣）

「環境保護に関する南極条約議定書」が採択された1991年以来、当社は日本南極地域観測隊の環境保全担当および機械担当として19人の技術者を派遣するなど、我が国の南極観測を支援してまいりました。南極昭和基地ではさまざまな観測が行われ、日々生活する中で廃棄物や汚水が排出されます。当社の技術者はこれらの実態調査をはじめ、廃棄物調査・計量、汚水量・水質調査、汚水処理装置の設置・維持管理などに従事してきました。

「自分が創ったものを残していきたい」、「モノづくりに携わりたい」という強い意志を持った方は、ぜひ当社で自らの可能性を広げ、大いに活躍していただきたいと思えます。



■問い合わせ先

ホームページ <https://www.sanki.co.jp/>

エントリー：マイナビまたはリクナビからエントリーをお願いします。



# 株式会社神鋼環境ソリューション

## カーボンニュートラルのトップ企業を目指して

神鋼環境ソリューションは、浄水場や下水処理場、ごみ焼却施設などを建設するプラントエンジニアリングメーカーです。皆さんはこれらの施設そのものを日常的に意識することは少ないと思いますが、当たり前前の生活を継続するためには無くてはならない社会インフラです。当社はエンジニアリングで社会の“当たり前”を支えています。昨今、カーボンニュートラルに向けた動きが加速しています。当社は、長年培ってきた経験に、新たな技術や知見を組み合わせることで、2030年度事業像として掲げた「カーボンニュートラルのトップ企業」を目指しています。

## 事業紹介 ～幅広く水に関わる事業を展開～

キッチン、お風呂、トイレなどで毎日使っている「水」。その水は、浄水場でつくられ、私たちの暮らしに届けられています。また、使用した後の水＝生活排水は、最終的に下水処理場で適切に処理され、河川や海へ放流されています。当社は、上水、下水に加え、浸出水や産業用水処理、工業用・地域冷暖房用冷却塔など、幅広く水に関わる事業を展開しており、エンジニアリング（設計、建設、運転・維持管理）を通じて、安全でおいしい水の供給や豊かな水環境の保全に役立っています。



### カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み

当社はカーボンニュートラルの実現に向け、水処理の過程で発生する汚泥やこれまで有効利用されてこなかった地域バイオマスの有効利用にも積極的に取り組んでいます。下水汚泥や食品工場等で発生する食品残渣などの有機性廃棄物をメタン発酵し、発生したガスをボイラの燃料やエンジンでの発電に利用しています。

また、汚泥を炭化する施設を複数建設し、火力発電所やボイラを保有する工場などで石炭代替燃料として利用いただくプロジェクトも推進しています。

## 若手のうちから挑戦できる環境

当社が手掛ける環境プラントの建設には、機械、材料、流体、熱、電気、化学、生物、土木、建築・・・など、幅広い専門知識や技術力が必要とされます。最初から最後まで全てを一人で完結できるような仕事ではなく、社内外の多くの専門家と協力・連携することが不可欠です。

当社は、入社前の専攻は不問とし、配属後に必要な知識を学ぶことが前提の育成プランとしています。また、入社後2年間は、先輩社員がマンツーマンで指導します。若手社員に対しても大きな仕事を任せていく方針ですが、相談しやすい環境が整っているため、思い切って挑戦することができますし、困ったときはチームで助け合う文化もあります。

福利厚生・制度面では、寮・社宅、在宅勤務、フレックスタイム、キャリア継続休職制度、ドレスコードフリー、カフェテリアプラン、奨学金返還支援制度などを導入しており、生活が安定し、自分らしく働くことができる職場環境づくりに取り組んでいます。



Keep the Earth Sky-blue

株式会社 神鋼環境ソリューション

■問い合わせ先  
株式会社神鋼環境ソリューション  
人事労政部  
TEL : 078-232-8019  
E-mail : SKS-saiyo@kobelco.com



# 水道機工株式会社

## 創業以来 100 年間、人の営みを支える水をつくり続けています

1924年の創業以来、人類と地球環境に欠かすことのできない水に関わる事業を行ってきました。浄水場はもちろん、海水淡水化施設、水再生センター、ゴミ浸出水処理施設、汚泥再生施設など水に関するあらゆる場面で水道機工の高い技術力と製品力が発揮されています。それはひとえに強い志と高い目標を掲げ、人々の生活を支えることへの責任と情熱で、水を見つめ続けてきたからだと考えています。水道機工はこれからの100年も、水処理エンジニアリングのリーディングカンパニーとして社会に貢献していきます。



## 社員一人一人が活躍でき、チャレンジできる環境があります



水道機工は、社員一人ひとりがメインプレイヤーとして活躍できることを目指しています。そのためのサポート体制も充実しており、新人研修や社外研修、メンター制度など、さまざまな研修制度を設けています。

また若手社員のうちからチャレンジすることを推奨する社風があるため、早期に自分の知識経験を活かせる機会が増え、「私がこの浄水場を設計した」など大きな成長とやりがいにつながる経験を得られます。技術力を磨きながら、自分の意識次第でより高い領域に挑戦できる面白さや楽しさのある環境です。

## 応募される方へのメッセージ

やりがいと働きやすさのバランスが非常によく、社員がのびのびと自分の知識や経験を活かして活躍できる環境が整っています。制度面・環境面を柔軟に整えることで、社員の働きやすさを実現し、新卒入社社員の3年後定着率は95%となっています。また、100年間で培った知識と高い技術力があり、それらを継承し自分のものとして活かしながら若手社員のうちから活躍することができます。もちろんそれには厳しさも付きものですが、温かく見守ってくれる先輩や上司がいます。そのような水道機工ならではの社風によって、やりがいをもって働くことができます。

私たちと一緒に「100年先も人と地球をつなぐ情熱で、笑顔あふれる環境を技術と製品で創造し、社会に貢献する」挑戦をしてみませんか？



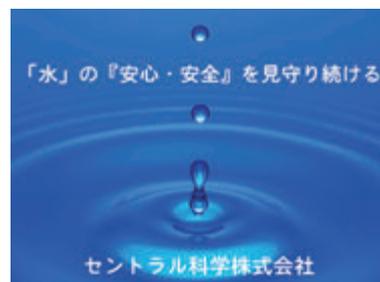
■問い合わせ先  
 新卒採用担当 TEL : 03-3426-2138  
 E-mail : saiyo.skk.mb@suiki-g.com  
 HP : <https://www.suiki-recruit.jp/>



# セントラル科学株式会社

## 会社紹介

上下水道における水処理のほか、私たちの生活に身近なスマートフォンや食品、医薬品などの製造工程においても水質管理はとても重要です。その水質管理に必要不可欠なのが「水質測定器」であり、セントラル科学は創立から約60年間変わらずに「水質測定器」の販売一筋で水環境に貢献してきました。「誰でも迅速・簡単・高精度に測定できる水質測定器」をコンセプトとし、自社ブランド製品のほか、世界の優れた技術を有する水質測定器を輸入し、お客様のニーズに合わせて提供し続けています。



## 仕事内容

基本的な測定の相談から応用例までさまざまな問合せがあります。営業部では製品知識とこれまで納入してきた事例をもとに、ときには技術部と連携しながらお客様の要望に合わせ最適な水質測定器を提案します。お客様の課題を聞き解決の糸口を探る際には、皆さんが学んでいる水環境の知識が活かされます。ほかにも海外メーカーとの交渉に語学力、製品のPR資料として動画作成のスキルが活かされたりと、各々が活躍できる場所があります。

## 先輩社員に聞いた“ここがセントラル科学のよいところ”

水環境に関わる仕事の中でも「水質測定器」を扱っているからこそ、水を使用するすべての市場がお客様になります。上水・下水といった社会インフラのみでなく、食品・化学・化粧品・機械・製薬など多種多様な産業の発展に幅広く貢献したい方におすすめです。水環境の知識は入社してから約5カ月間の研修と日々の業務の中で身に付けていくことができます。少人数グループで1人1人のペースに合わせたスピード感でスキルアップを目指せます。また20～30代が中心の職場はわきあいあいとした雰囲気があり、同時に若手が活躍できる環境でもあります。利益が出た分は期末手当のほか、休業日を設けてイベントを開催し社内交流が行われるのも、当社の特徴でもあります。



2024年期末イベントの様子（ランチクルーズ船内にて）

水環境に関する仕事の中でも「水質測定器」を扱っているからこそ、水を使用するすべての市場がお客様になります。上水・下水といった社会インフラのみでなく、食品・化学・化粧品・機械・製薬など多種多様な産業の発展に幅広く貢献したい方におすすめです。水環境の知識は入社してから約5カ月間の研修と日々の業務の中で身に付けていくことができます。少人数グループで1人1人のペースに合わせたスピード感でスキルアップを目指せます。また20～30代が中心の職場はわきあいあいとした雰囲気があり、同時に若手が活躍できる環境でもあります。利益が出た分は期末手当のほか、休業日を設けてイベントを開催し社内交流が行われるのも、当社の特徴でもあります。

## 採用担当から一言

将来的には、さまざまな職種や業種の方と関わりを持ち、全国の水環境を考えるという点で、国内外を問わずグローバルな視点での活躍を目指してほしいと思います。セントラル科学では募集期間を設けず随時面接を行っておりますので、水環境に携わりたい方、コミュニケーションを取ることが好きな方、語学力を活かしたい方など、まずはお気軽にご連絡ください！



■問い合わせ先  
セントラル科学株式会社 総務部  
TEL : 03-3812-9186  
E-mail : central@aqua-ckc.co.jp  
HP : <https://aqua-ckc.jp/>

採用情報は  
こちらから!



# 株式会社ダイキアクシス

## 「環境を守る。未来を変える。」

ダイキアクシスは、持続可能な社会の実現に向けて、創業以来「水」を軸とした事業を展開してきました。

「環境機器関連事業」では、総合水処理メーカーとして排水処理装置の技術開発や製造、販売。それだけにとどまらず、施工からメンテナンスまで幅広く手掛け、さまざまな「水」の課題に独自の技術でチャレンジを続けています。また、「水処理のパイオニア」として業界に先駆けて新たな素材を使った浄化槽を発売するなど、常に業界の最先端を走ってきました。

今、世界では深刻な水環境汚染が問題になっています。国内はもちろん、海外の水環境の改善および保全に貢献するため、インドネシアやインドをはじめとする東南アジア・南アジアを中心に浄化槽の普及に努めています。

「環境を守る。未来を変える。」

ダイキアクシスは、世界中の「水と環境」の課題に向き合い、より豊かで持続可能な社会と未来を実現するため、挑戦を続けます。



## たくさんの失敗の先にある“開発の楽しさ”



開発は、製品のコンセプト立案から具体的な仕様を決定するまでの仕事です。生活排水をどうやって浄化するのか、その手法（処理方式）や構造・大きさを考え、それが実際に意図したとおりに行けるかどうかを試験によって検証し、製品の最終形態を決定します。

開発の段階では実験結果など思ったようにならないことも多いですが、自分の頭の中で空想したものが“モノになる”ことが何よりも楽しいと思えるから、心折れずに「最後までつくりたい」という意思を持って取り組みます。

最近、開発部門にも若い社員が増えてきました。これまでは実務担当者として自分の好きなことをさせてもらっていましたが、今になって周りの方のたくさんのフォローがあって自分の仕事ができていることに気がきました。これからは自分がフォローする立場になって、自分自身のスキルアップを図りながら後輩たちにも指導し、開発の楽しさを伝えていきます。

## “採用教育”で成長できる機会提供を

ダイキアクシスでは、「学生の成長支援を通じた採用活動」をしたいという想いから学生に寄り添った就職関連のセミナー、インターンシップ（対面型職場体験）、面談等を実施し、フィードバックまで行います。

また、入社前に自社が取り組んでいる事業はいかに世界に大きな影響があるかを学ぶことで、自社が営む事業を自分ごととして捉えることを目的とし、内定者海外研修を積極的に行っています。多くの体験を積むことで、自分たちで考え発信する力を養ってもらうことを期待しています。



### ■問い合わせ先

株式会社ダイキアクシス

人事部 採用教育課 採用担当

TEL : 089-927-3330

E-mail : recruit@daiki-axis.com

採用情報はこちら！  
エントリー受付中です。



# 株式会社中央設計技術研究所

## 先輩からのメッセージ

クライアントに「信頼」され「頼りにされる」コンサルタントに！

建築の仕事を生業にしている親戚がいたため、建築現場は身近な存在だった。いつか自分も建築や土木関係の仕事に就きたいと、大学で土木工学を専攻。「生まれも育ちも金沢なので、地元・金沢のインフラなどに貢献できる仕事がしたいと、当社に入社を決めました。」

会社としては、都道府県や市町村を対象に、水道全般の計画、設計、施工管理業務を行う。その中で、水道管の設計や交換のための計画業務を担当する。

「入社1年目の終わり頃、初めて水道管の設計をすべて任されました。お客様とも打ち合わせを重ね、出来上がった時は嬉しかったですし、お客様に喜んでもらった時は、この仕事のやりがいを実感しました。一方で、水道管を順次取り替えていくために、管の調査と評価を行い、優先順位を決めていきます。ただし古さか耐震性がどちらを優先するか、地域によって考え方も異なるため、その調整に苦労します。」

壁にぶつかった時は上司や先輩が常にサポートしてくれるのが心強い。

「提案力も交渉力も素晴らしい上司や先輩が多く、的確なアドバイスにいつも助けてもらっています。目標となる先輩がいるのは、恵まれた環境だと思います。」

関わっているものが水道というインフラ業務だけに、不備があれば住民の生活に直結する。ましてや災害が起こった時などは、生命にも関わるライフラインだ。それだけ責任のある仕事を担っているということを常に意識をする。「一口に水道と言っても、取水、配水、排水、浄水など幅広い分野があり、それぞれに専門知識が求められます。プロとしての技術力はもちろん、提案力も向上させるためにも、勉強と経験あるのみです。」目指すは水道のエキスパートと語る表情からも、強い使命感と覚悟が伝わってくる。 (高良平さん／本社水道部 2013年入社)



## 採用担当者からメッセージ

私たち中央設計技術研究所が提供する技術サービスは、人々が生活する上で欠かすことのできないものです。

創立75年以上の歴史の中で培われた技術をベースとして、IT技術や先進技術を駆使し、「水と環境」の事業全般に関わっています。

社員に対する処遇も大手企業に並ぶ水準を保っています。さらに、売上高、社員数ともに、日本海側で有数のコンサルタントとして評価を頂いています。

「水と環境」というフィールドで、将来のプロフェッショナル・エンジニアを目指して、自分の可能性を試したい方は、是非私たちと一緒に働いてみませんか？



地域創水で、地方創生を。

株式会社 **中央設計技術研究所**  
Chuo Sekkei Engineering Co., Ltd.

■問い合わせ先

〒920-0031 石川県金沢市広岡三丁目3番77号 JR金沢駅西第一NKビル7階

TEL : 076-263-6464 E-mail : cs\_webmaster@cser.co.jp

URL : <https://www.recruit.cser.co.jp/>



# 株式会社 千代田コンサルタント

## 事業概要

当社は、1962年に創業以来、橋梁を出発点とする構造、道路、都市計画分野を中核とし、トンネル、施設、景観デザイン、環境、下水道及び河川分野等に至るまで、幅広い技術を提供している「総合建設コンサルタント」です。地球温暖化への待ったなしの対応、多発する自然災害、少子・高齢化などの社会現象等に対して、建設コンサルタントに求められる役割は益々大きなものとなっています。

私達は「社会から求められる社会に貢献する優れた技術者集団」として“安心・安全な国土と活力ある地域づくりの実現”に向けて取り組んでいます。

## 仕事内容

当社は、総合コンサルタントとして有する幅広い技術から水環境というテーマに関わっているのが特徴です。このため広い視点で水環境をみつめ、問題・課題に取り組むことができます。

そのなかでも環境・下水道・河川分野の役割は重要です。

水質・水量保全の観点では、環境調査の実施、汚水適正処理等の計画立案、下水道施設（污水处理場、管渠等）の設計、さらに豪雨災害による水質悪化の抑制に対して浸水・治水対策にも力を入れています。また、グリーンインフラの導入に向けた提案なども行います。

水生生物や水辺地の保全・創造に対しては、動植物などの生態系調査はもとより、河川環境整備計画の立案、親水性の高い河川空間の提案、さらに地域文化と水環境をまちづくり資源として活用するための提案なども行います。

地球温暖化防止への対応としては、再生可能エネルギーの利活用についても積極的に取り組んでいます。



## 先輩社員の声

千代田コンサルタントは、思いやりとチームワークを大切にする伝統的な社風を基盤に、高い技術力と創造力を有した会社です。当社は事業分野ごとに取り扱う業務が大きく異なりますが、複数の分野を跨ぐ事業では各チームが垣根を越えて、技術力を結集させ、業務を遂行することができます。これは「総合建設コンサルタント」ならではの強みと認識しております。また、個人がやる気とチャレンジ精神を有していれば、難しい事業への参加や分野を越えた経験を積むことができ、個人の成長に繋がられます。大変な時期もありますが、厳しくも温かい上司や諸先輩方の存在により前を向いていきます。

今後も安心・安全で潤いのある美しい国・地域づくりに貢献して行きたいと考えています。



～安心・安全な国土と活力ある地域づくりの実現を目指して～



START for Tomorrow

株式  
会社

千代田コンサルタント

■問い合わせ先

採用担当

TEL：03-3527-1013

E-mail：saiyou@chiyoda-ec.co.jp



# 月島JFEアクアソリューション株式会社

「下水汚泥の有効利用」No.1。日本全国の1日に出る汚水の1/3をきれいにしています。(※)

本年8月に120周年を迎える「月島機械」の水環境事業は2023年10月1日、JFEエンジニアリング株式会社（JFEE）の国内水エンジニアリング事業部門と統合し、「月島JFEアクアソリューション株式会社（TJAS）」として新たな一歩を踏み出しました。

両社が強みを持つ嫌気性消化や焼却など下水汚泥処理技術の融合や、JFEEの浄水処理技術と月島の排水処理技術による相互補完などで競争力を高めます。メーカー兼エンジニアリング会社として、水をきれいにするだけでなく、創エネルギー技術の開発に注力し、再生可能エネルギー事業を強化し、上下水道分野等におけるリーディングカンパニーを目指します。

※当社調べ



## 「人」を大切にして「地球環境」を守る

インフラ業界全体で、現場作業の高齢化は深刻な問題となっています。

遠隔監視やAI活用による省力化に取り組みながら、充実した福利厚生や柔軟な働き方に力を入れ、社員一人ひとりの幸せが会社の成長や脱炭素社会の構築へ寄与する、そんな会社を創っていきます。



みずから、これから。

月島JFEアクアソリューション株式会社

■問い合わせ先

新卒採用担当 TEL : 03-5547-8400 E-mail : recruit\_tjas@tjas.co.jp



# 月島ジェイテクノメンテサーブス株式会社

## 「何事もない日常」を支える技術者集団

「水」に関して私たち日本の暮らしは、世界トップレベルの快適さを保っていると言われているでしょう。顔を洗うにも、お風呂に入るにも、そして飲料としても安全な水道水がいつも安定して提供され、トイレや調理で出る排水は適切に処理をされています。

それらの「何事もない日常」を支えているのが、私たち月島ジェイテクノメンテサーブス（以下 TJTM）の仕事です。TJTM は全国約 130 カ所の上下水道関連の施設運営・管理を行い、皆さんの日常を支えています。「ライフラインを守ることで仕事そのものが社会貢献に繋がる」。TJTM はそんな誇り高さ技術者集団です。ライフラインを守る事業の一方で、下水污泥燃料化や消化ガス発電といった廃棄物を新しいエネルギー資源として有効活用するなど、地球環境問題に対する新たな取り組みにも挑戦しています。



## 「運転管理事業」と「補修・設備工事事業」の2本柱で展開



TJTM の主な事業として、快適な生活を 24 時間・365 日提供できるように、上下水道の業務全般に携わり、環境にやさしい水を提供している「運転管理事業」と、上下水道処理施設に設置している機械の補修工事や新規設備工事を行う「補修・設備工事事業」があります。「運転管理事業」では、全国にある上下水道処理施設の運転監視、点検整備（保守点検・維持修繕）、管理・巡回点検、水質管理等を実施しており、直接的に人々の生活を支えています。「補修・設備工事事業」では、プラント設備の計画から試運転まで携わるため、工事終了後は自分で携わったものが「形」となって残ります。上下水道処理施設は、人々の生活に欠かせないインフラです。TJTM の技術とノウハウを活かし、社員一人ひとりが責任感と使命感を持って、人々の生活や安心して暮らせる環境を支えています。

## 「人」が最も大切な財産

TJTM は技術の会社であり、会社をあげて皆さんの入社後の能力開発を全面的にバックアップしていきます。それは、何よりも「人」が一番の財産という理念があるからです。特に世代ごとの能力開発を促す「手づくりの教育」が特徴的であり、人材育成教育を積極的に展開しています。また資格取得のための助成制度の仕組みも充実しているほか、会社生活を楽しく過ごすための部活動も活発に行われています。現在は、野球、サッカー、フットサルなど多岐にわたり実施し、縦横の繋がりを大切にしています。人間が生活していく上で必要不可欠な「水」。決して華やかで脚光を浴びる業界ではありませんが、強い使命感を担った TJTM で一緒に頑張りましょう。



## 月島ジェイテクノメンテサーブス株式会社

■問い合わせ先

人事部採用教育課

TEL : 03-5245-7161 FAX : 03-5245-7166

E-mail : tjtm\_saiyo@tjtm.tjas.co.jp



# 内藤環境管理株式会社

## 化学分析業から快適環境創造業へ

私たちは昭和47年に、「正確・迅速・親切」を基本コンセプトとして、気軽に利用できる化学分析専門会社を目指してスタートしました。経営理念の「快適環境創造に生きるデータ 役に立つ科学技術を提供し 人類社会に貢献することが 私たちの使命です」にあるように、お客様の快適環境創造のパートナーを目指しています。

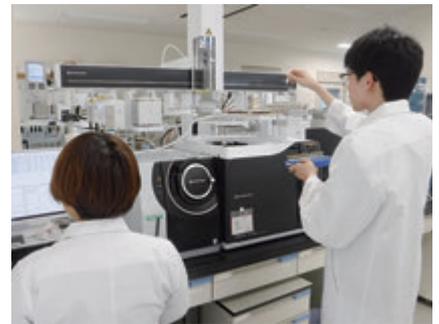
## 事業内容・当社の取り組み

**主な業務内容：**①環境管理に伴う調査・測定・化学分析②ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定③水道法第20条に基づく水質検査④製品開発・品質管理に伴う化学分析⑤アスベスト・PCB等の化学分析⑥労働衛生管理に伴う作業環境測定⑦土壌分析・建設発生土（残土）分析

**有資格者：**環境計量士 10名、作業環境測定士 14名

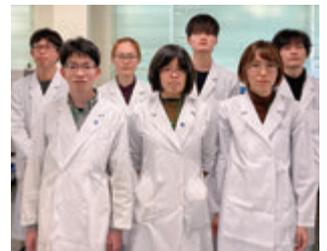
**研修・教育・活動：**若い社員の育成につながる取り組みとして、快適環境創造研究会（9のプロジェクト）【お客様のパートナーになるべく、情報提供と課題解決のための活動】、学会・研究会への参加、研究発表、外部研修、環境計量士を目指す人向けの社内勉強会の実施等

**ワークライフバランス：**計画的に年休を取得する体制づくり（5日間の長期休暇制度）



## 先輩の声

- ・会社説明会で「若い社員でもチャレンジする機会は平等にあります」という言葉を聞き、当社を志望しました。自分の志さえあれば、社内外において学生時代に学んだ分野とは違ってチャンスをもたらせる環境が当社にあります。（技術職 男性社員）
- ・自分が学生のときに学んだことが活かせると思い、当社を志望しました。会社見学で、若い人達が生き生きと仕事に取り組んでいると感じました。お客様から相談された時、学会での発表等にチャレンジすることが、やりがいに繋がっています。（技術職 男性社員）
- ・学生時代に興味があった機器分析を仕事とすることができ、しかも環境に関われるということで当社に興味を持ちました。資格を持っている人が多く技術力が高いと思ったことが志望動機です。外部に自分の知識と技術力を活かした情報を発信することができることもやりがいの一つです。（技術職 男性社員）
- ・外部研修に参加できる機会が多いです。学生時代に使用していない機器でも、メーカー主催の研修等に参加することで、取り扱いを詳しく教えてもらうことができます。毎日業務を行うなかで、様々な試料を分析し、なぜそのような結果が出たのかを考えた時に、それぞれ異なる要因や他の物質との関係性が見えてくるのが面白いです。（技術職 女性社員）



The Knights of Environmental Science  
内藤環境管理株式会社

■問い合わせ先  
内藤環境管理株式会社 総務部  
TEL:0120-01-2590  
E-mail:admi@knights.co.jp



# 株式会社日水コン

## 「水」に関する社会課題を解決することで成長する会社

株式会社日水コンは、上下水道事業を中心に、計画・設計等の技術コンサルティングで業界をリードしてきた「水コンサルタント」のパイオニアであり、「水」を専門とした建設コンサルタントです。1959年の創業以来、水道や下水道、河川等の水環境に関わる分野で、常に変化する環境に対応し、新しいソリューションを生み出してきました。

今日、水に関わる様々な社会課題があり、当社の中でも、「気候変動」、「社会システム脆弱化」、「地域活力・魅力低下」を重要な課題と捉えています。これらを解決することが当社の事業活動

そのものであり、使命であり、また社会に対する責務でもあります。そして、「水」に関する社会問題を解決することによって成長する「水のインパクトカンパニー」を目指しています。



## メリハリある働き方ができる会社



当社では、フリーアドレスやICTの活用、在宅勤務やフレックスタイム制度の導入等、働きやすい環境づくりに力を入れています。年次有給休暇は入社時に15日が付与され、勤続年数に応じて最大25日まで増えます。また、健康を経営課題として捉え、「体」「心」「自信を持って働く」の3つの要素を好循環させる「日水コンWLC (Work Life Circulation)」を体系づけ、「仕事とプライベートをバランスよく両立するメリハリある働き方」を目指しています。

## 「ミズカラ、カエテイク」のは君たち!

当社では「人が資本、人材が生命線」と位置づけ、多様な課題を解決する技術力とチャレンジし続ける意欲を育てるため、キャリアに応じた教育研修制度のほか、部門別の技術勉強会、技術士等の資格取得支援等、各種サポートを整えています。また、「ミズカラ、カエテイク」精神を大切にしています。これは、自分から学び得た「知識・技術・経験」を生かして会社や社会に貢献することを意味します。同じ価値観を持った仲間とともに、一緒に潤いある未来を創造していきませんか?



潤いある未来へ

株式会社 日水コン nissuicon

■問合せ先  
新卒採用担当

TEL : 03-5323-6213 E-mail : saiyou@nissuicon.co.jp



# 地方共同法人日本下水道事業団

## 下水道事業に特化した公的機関です

当事業団は、「下水道ソリューションパートナー」として地方公共団体の水処理・污泥処理施設やポンプ施設などの下水道施設の整備や運営を支援・代行している地方共同法人です。1972年の設立以来、全国に約2200カ所ある下水処理場のうち、約7割にあたる約1500カ所の建設等に関与してきました。

下水道事業が更新・管理の時代へと大きく構造変化する中、人口減少に伴う地方公共団体の下水道の執行体制の脆弱化への対応が急務となっております。加えて、近年は地震や水害等の自然災害が頻発しており、災害の脅威への強靱化対応の重要性がますます高まっております。

当事業団はこのような状況に対し、持続可能な下水道事業を実現する観点より、政策形成から設計・建設、維持管理に至る事業全般について支援しつつ、PPP/PFI等の新たな事業、頻発する災害への対応、ニーズに応える技術開発、下水道技術者の育成に資する研修等を中心に、下水道のライフサイクル全体にわたる支援をしております。また、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進により技術やサービス、ビジネスモデルの変革を牽引することにより、技術、人材、情報等下水道の基盤づくりを進め、良好な水環境の創造、安全なまちづくり、持続可能な社会の形成に貢献していきます。



## 下水道に関する幅広い事業を経験することができます

下水道事業の内容は、計画・設計・施工・維持管理など多岐にわたります。当事業団は、地方公共団体と一体となって下水道施設のプランニングを行い、ゼネコンやコンサルタント、設備メーカーなどの企業とともに設計・施工を進めています。東京・大阪の事務所を中心として、全国の地方公共団体を技術的な側面からサポートしています。

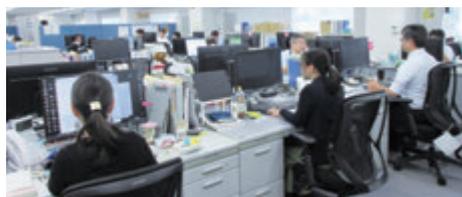


## 充実した人材育成プランを準備しています

下水道事業の実施には、土木や化学・生物だけでなく、機械・電気・建築・経営といった幅広い知識が必要となります。そのため、入社後の人材育成に力を注いでおり、充実した教育研修制度や資格取得に対するバックアップ体制を備えています。学生時代に下水道を勉強していなくても心配ありません。研修は、下水道事業計画の策定から設計や施工、維持管理といった幅広いコースがあり、業務・職種の専門性に応じて受講が可能です。

また、2～3年ごとにジョブローテーションをおこない、各分野の経験を積む機会を設けています。定期的な配置換えにより、様々な業務を経験し、広い視野で事業を俯瞰できる人材を育成しています。

公的な立場から下水道事業の技術者として携わりたい方をお待ちしています。



■問い合わせ先  
日本下水道事業団 新卒採用担当（技術系）  
TEL：03-6892-2009  
E-mail：jsrecruit@jswa.go.jp



# 日本水工設計株式会社

## 顧客の技術パートナー“水コンサルタント”

当社は“ずっと もっと 水とともに。”をモットーに、人々の生活を支える水の総合コンサルタントです。自治体の技術パートナーとして上下水道等に関する課題・ニーズをヒアリングし、調査・計画・設計や上下水道事業の運営支援を担っています。

日々アタリマエに使用している上下水道ですが、現在様々な問題に直面しています。これまで水環境を支え続けていたインフラ施設の老朽化にはじまり、豪雨や地震など自然災害の増加や、少子高齢化・人口減少による全国的な財政基盤の弱体化など課題は山積みです。だからこそ私たち水コンサルタントの役割は重要性を増しています。アタリマエを支え、次世代に継承するために、創業以来培ってきた上下水道整備の豊富な知識と専門的な視点に加えて、AIやIoTなどの最新技術を駆使し、日々多くのプロジェクトに携わっています。



## 教え合い成長を支援・働きやすい環境づくりを目指して



当社は「教え合う文化」が根付いており、部署や年代を問わず意見や相談がしやすい社風が特徴です。入社から日の浅い若手社員でも率先して自分の考えを提案でき、その意見を元にプロジェクトが進むこともあります。そのため若手のうちから一人の技術者として、水インフラ整備に貢献することができます。自分の提案がまちづくりに反映され、人々の生活を支えていることを実感でき、仕事のやりがいを感じられます。

また、社内ではワークライフバランスのためのノー残業デー実施や有給休暇の取得推進、在宅勤務や時差出勤の取り組みなどを実施しており、今後も社員が働きやすい環境づくりに力を入れていきます。有給休暇日数は初年度から15日の付与があり、仕事のときと休むときのオン・オフを大事にしながら働くことができます。

## 採用担当者からのメッセージ

現在、水コンサルタントの事業フィールドは、高度経済成長期の新規建設の時代と比較して、より拡大し、さらに高度化しています。そのため、水の専門知識だけでなく土木・建築・機械・電気の各分野における専門知識に加えて、財政や経営、IoTに関する知識もますます重要となっています。しかし、当社ではこれらの技術的な側面だけでなく、「人としての信頼性」を依然として最も重要な要素と位置づけています。技術力はもちろん大切ですが、お客様との信頼関係やプロフェッショナリズムも同等に重要です。当社では、社員一人ひとりが高い倫理観と責任感を持ち、お客様に対して真摯で信頼性のあるサービスを提供しています。

当社はキャリア形成と自己成長に積極的に取り組む意欲をお持ちの方々を全力でサポートします。是非、日本水工設計の一員となり、人として信頼される技術者になりませんか？共に働ける日をお待ちしています。



**日本水工設計**

### ■問い合わせ先

日本水工設計株式会社 採用担当  
東京都中央区勝どき 3-12-1  
TEL : 03-3534-5511  
MAIL : recruit@n-suiko.co.jp

積極採用中!  
会社説明会受付中  
エントリーはこちら



# 株式会社日立プラントサービス

**「地球環境に貢献する水・環境ソリューションパートナー」をめざし、  
「お客さまのビジネス成長と社会課題解決に貢献」していきます**

当社は日立グループの一員として、産業プラント・水処理設備の企画、設計、建設からメンテナンスまで一貫して提供しています。これまで、きれいな水、空気をつくるクリーン化技術・省エネと高効率化技術でお客さまのモノづくりに貢献してきました。

また今日では、環境負荷の低減、持続可能なバリューチェーンの構築、働きがいやQuality of Life (QOL) の向上など、多様な課題への対応が、モノづくりの世界と、それを支える企業にも求められております。

そのような多様性が求められる中で、新たなモノづくりと豊かな社会の実現に向けて、「お客さまのビジネス成長と社会課題解決に貢献」していきます。



## 水インフラ

当社の水インフラ事業は、浄水場や下水処理場など、人々の生活に身近で欠かすことのできない『上水・下水道分野』、自動車工場、電子半導体工場など、様々な産業・製品を生み出すために必要な「水」を扱う『産業水処理分野』からなります。水インフラ事業の幅広い実績とリサイクル技術やデジタル技術など最新技術の活用により、「安全な飲み水」「きれいな水」「環境低負荷」の実現に貢献します。

### ■上水・下水処理

各種の水処理装置の製造から、地域に密着した修繕・更新計画の提案まで、全国にわたり幅広く対応しています。お客さま・地域の課題に応じた持続可能な水インフラの構築・運営に対して、最適な水処理設備やソリューションを提供し、地域、人々の暮らしを支えています。

### ■産業水処理

工場などから排出される排水の処理において、最適な技術を用いて効率的な処理システムを提案し、「環境低負荷」「処理能力増強」などの実現に貢献します。また、産業と水のコラボレーションの可能性を追求して、水資源を活かすリサイクル技術やデジタル技術による効率化など、多様化するお客さまのニーズに合わせたソリューションを提供します。



## 先輩エンジニアの声



### 「大切なのは、“わからない”があったらまずは頼ること」

私は、産業排水を扱う水処理施設の施工計画や施工管理を行う、産業水処理部に所属しています。現場のひと区画を担当し、そこで工程・機械・電気など、さまざまな分野の方々との調整や施工の管理を行っていくことが主な仕事になります。最初から最後まで現場に関わることは初めてだったので、なにも入っていない状態の工場から、すべての設備が据え付けられて完成したのを見たときは、やりがいのある仕事だなと感じました。わからないことがあったときには、周囲に意見を求めたり、自分で調べたりして、相手に意見をぶつけるようにしています。それは先輩たちも通ってきた道です。一つ一つ経験を、積み重ねていくことこそが、自分自身の成長につながると思います。

## 最後に、採用グループよりメッセージ

一人ひとりの挑戦する心とチームワークによって、社会・お客さまへ新しい価値を提供し、私たち自身も常に成長していく。この成長のスパイラル（連鎖）こそが当社の力です。

当社の強みであるチームワークと企業の存在価値、仕事の意義、使命感を共有できる仲間を求めています。

**HITACHI**  
Inspire the Next

### ■問い合わせ先

株式会社日立プラントサービス  
人事総務本部 人材開発センタ 採用グループ  
TEL : 03-6386-3001  
E-mail : hps.saiyou.np@hitachi.com  
HP : <https://www.hitachi-hps.co.jp/>



# 株式会社フソウ

## 培った技術と経験を活かし、水インフラにおける DX や官民連携を推進

FUSO グループは、「FUTURE SOCIETY をつくっていく」をグループビジョンとし、水・住まい・エネルギーの事業領域にてグループ一体で社会課題の解決に取り組んでいます。

当社はそのコア事業である水インフラを事業の主軸としています。少子高齢化に伴う人口減少や技術者不足等の影響により、水道事業の広域化や官民連携が進む中、DX や GX を進める新たな技術を開発しています。



## <施設と管路を一貫して手がける総合水インフラ企業>

当社は 1946 年の創業以来水インフラを事業とし、浄水場や下水処理場など水に関わるあらゆる処理施設と水を輸送する管路を一貫して手がけてきました。国内トップクラスに充実した約 7 万点の資機材の販売、上下水道や農業・工業用水、電力用水など、あらゆる用途や施設に対応した鋼管の製造、時代の変化やニーズに対応する技術と研究開発で地域社会に貢献しています。

また、デジタル技術を活用した業務改善と効率化に早くから取り組んでいます。点群データや BIM/CIM による 3D モデル化を推進し、広大な施設の内外を素早く正確に“見える化”することで、安全性向上や工期短縮につなげています。水インフラの DX や GX の最先端を行くトップランナーとして、地域の想いをカタチにする最適なソリューションを展開してまいります。



フソウの事業領域

## 先輩からのメッセージ「チャレンジを通じて成長できる会社です」

当社は、幅広い業務に携わりたい方、専門性を高めたい方、どちらも挑戦できる会社です。水インフラ施設の設計・施工や維持管理に加え、官民連携にも積極的に取り組んでおり、最新技術の研究開発や海外事業など幅広い事業展開の中で、多様な職種の社員が活躍しています。手を挙げればさまざまな仕事にチャレンジできる会社です。

私は、施工管理や工事を統括する部署を経験後、JWRC（公益財団法人水道技術研究センター）に 3 年間出向しました。JWRC では、事務局の仕事のほか、水道事業体の方々へのヒアリングや、産官学が共同で作成した水道の課題を解決するための事例集やツールの普及活動を行いました。

水インフラの地域課題への理解が深まり、水道事業を運営する視点を知ることができました。帰任後は、ウォーター PPP を中心とした官民連携に関する営業活動や情報収集の業務を行っており、産官学の枠を超えた交流と仕事の経験が今の仕事に繋がっていることを実感しています。



水インフラ事業部 久保さん

水をつくる、いかす、考える。



株式会社フソウ

■問い合わせ先

株式会社フソウ 総務人事部 採用担当

TEL : 03-6880-2113

E-mail : saiyo@fuso-inc.co.jp



# 株式会社明電舎

## 事業の概要

明電舎は、電力、水処理、鉄道・交通などの社会インフラや各種産業分野において、電気の技術で幅広く社会に貢献してきました。創業は1897年（明治30年）で、127年の歴史を持ちます。

水インフラの分野では、監視制御装置や受変電システムをはじめとした上下水道プラント用電気設備、太陽光・小水力発電などの再生可能エネルギー用製品、水クラウドコンピューティングを活用したシステム等で、お客様施設の安定運用や業務の効率化に貢献してきました。

近年では、増加するゲリラ豪雨に対応するため、ICT・IoT・AIを活用した都市浸水対応システムや各種予測システム、DX化を図る広域監視や運転操作支援の技術開発を推進しています。また、上下水道や工業排水再利用分野において安定した水処理や省エネ化に貢献するセラミック膜の販売を国内外で展開しています。



## 仕事内容、プロジェクトの事例



当社では、上下水道プラント用電気設備の設計、製造、据付工事、施設の維持管理を含めトータルにサポートし、これらに直接携わることができます。お客様の業務改善や効率化、新たな価値を創造する設備を提案し、受注につなげることも重要な業務です。

防災関連では、管きょ情報をリアルタイムに「見える化」するための、下水道管きょ用IoTデバイス「マンホールアンテナ」とIoT防災監視サービスの連携により、都市浸水リスクを可視化する取り組みを自治体と共同で実施しています。

水処理関連でも国からの委託事業や自治体との共同研究を積極的に推進しています。技術継承の課題に対して熟練技術者のノウハウをAI化し下水処理場で実稼働させる実証事業を実施しAI技術の普及を図っています。また、カーボンニュートラルの実現を見据え、下水処理水から高い効率でエネルギーを回収する水処理技術の実証事業を実施中です。

## 先輩社員の声

当社は価値創造や事業基盤のマテリアリティとして「カーボンニュートラルへの貢献」「安心・安全・便利な社会の実現」「共創によるイノベーション」「多様な人財がイキイキと成長・活躍できる風土醸成」等を掲げ、サステナビリティ経営の推進を基本方針と位置付けています。水インフラ分野においても、これらの課題解決に貢献しています。また、ウェルビーイングを実現するため、多様な価値観を持った皆様が活躍できる環境整備や時代に合った働き方を推し進めています。さらに当社では、若手のうちからお客様と接し、成果を公表し、最先端の研究開発に携わることが可能です。

明電舎の「舎」は「志を同じくする者が集う場所」という意味です。我々とともに活動し、将来にわたり社会インフラを支え創造する人財を待望しています。



**MEIDEN**  
Quality connecting the next

■問い合わせ先  
人事統括本部 人事企画部 採用推進課  
TEL : 03-6420-8504 (採用代表)  
URL : <https://www.meidensha.co.jp>



# 前澤工業株式会社

## 創業 80 余年の水インフラ企業として

当社は、創業以来 80 余年にわたり、上下水道用機器・水処理装置のメーカーとして、上下水道分野のインフラ整備に携わり現在では、バルブ事業・環境プラント事業・産業向け水処理事業・バイオマス事業を主要事業としています。

当社の製品は、日常生活で目に触れるものは数多くありませんが、皆さんの「安心・安全な暮らし」を支えています。

当社では、社会に関心を持ち、新しいことにチャレンジしていく人材を求めています。ぜひ私たちと一緒に前澤工業の一員として、水インフラを支えていきましょう。



## 地球環境のためにマエザワの技術で貢献を



当社を含む産学官連携チーム（高知大学・香南市・高知県・日本下水道事業団・当社の5団体）の取組が、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する 2019 年度「STI（Science, Technology and Innovation）for SDGs」アワードで優秀賞を受賞しました。

この取組で研究・開発された「OD 法における二点 DO 制御システム」は、高知県香南市野市浄化センターで行った実験で消費電力を 3 分の 1、処理時間を半分にし、処理コストも削減できることを実証しました。この結果を踏まえ、同市内で本技術を 2 ヶ所に導入した他、新潟県糸魚川市や秋田県北秋田市などへも水平展開を行っています。この取組が、人口減少が進む地方都市における汚水処理の持続性向上に資すると認められ、SDGs（持続可能な開発目標）の 6「安全な水とトイレを世界中に」、7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」等、4 項目の達成に貢献する統合性のある技術と評価されました。またこの技術は、令和 3 年度に一般社団法人日本産業機械工業会主催第 47 回優秀環境装置表彰において「経済産業大臣賞」も受賞しました。

## 先輩社員からのメッセージ

大学時代に微生物学を学び、水処理に興味を持ちました。弊社に入社したきっかけは「水とともに躍進し」というフレーズに惹かれたからです。

所属する分析センターでは、上水・下水・排水・環境水・実験工程水・資機材浸出水・バイオマス・廃棄物・異物など多種多様な物質を分析しています。日々様々な検体が届きますが、依頼者の要望に応えるため、スピーディに精度よく分析するよう心がけています。

弊社は風通しがよく、若手でも様々なことにチャレンジさせてくれる会社です。ものづくりと水インフラに興味のある好奇心旺盛な方、共に働けることを楽しみにしております。



環境R&D推進室 分析センター  
石川 璃菜



## 前澤工業株式会社

### ■問い合わせ先

管理本部 人事部 採用担当 吉田

TEL : 048-259-7412 E-mail : jinjisaiyou@maezawa.co.jp



## 日本水環境学会年会における 学生会員向けの企画について ～産官学協力委員会～

日本水環境学会では、水環境分野の幅広い研究の発展と会員相互の情報交換を促進するため、毎年春に年会を開催しています。年会には毎年1,400人前後が参加し、600件以上の研究発表が行われ、活発な議論が行われているほか、学生会員向けの企画として、民間企業や公的機関の若手技術者が水環境に関わる仕事の魅力などを学生に紹介する「水環境ビジネスガイダンス」、水環境分野への就職を希望する学生を対象とした「会員企業・研究機関等就職説明会」といったプログラムを実施しています。ここでは、それぞれの概要を紹介します。

### 水環境ビジネスガイダンス

本企画は、日本水環境学会年会に参加する学生を対象として、水環境に関わる仕事の第一線で活躍する技術者から、仕事の内容・やりがい等について、生の声を聴くことができるランチョンセミナーです。



「水環境ビジネスガイダンス～水環境の仕事に興味のある学生の皆さんへ～」をテーマに、個別企業の宣伝ではなく、水環境に関連する業界（公的機関、プラントエンジニアリング、コンサルティング、ゼネコン、化学品（膜を含む）、装置・分析機器の製造・販売等）の仕事について、経験を交えて紹介し、学生が水環境関連の仕事に興味を持つきっかけとしてもらうことを目的としています。

平成19年度より開催され、18回目を迎える今回は、「男女共同参画推進委員会との共催」として年会2日目に以下のとおり予定していますので、お気軽にご参加ください。

日 時	2025年3月18日(火) 12:20～13:25
会 場	年会会場（特別会場：オープンホール）
参加費	無料（お弁当、お飲み物付き）
参加方法	現地受付にて参加チケットを配布します。

## 会員企業・研究機関等就職説明会

本説明会は、水環境分野への就職を希望する学生の皆さんを対象とした合同説明会です。日本水環境学会に所属する会員企業・研究機関等が直接説明を実施いたします。本説明会は日本水環境学会年会3日目の午後に現地での開催を予定しております。

本説明会は、すべての参加団体が1つの会場で会社概要を説明するショートプレゼンテーションと参加団体が個別に就職説明を行う各参加団体セッションの2部構成で実施します。ショートプレゼンテーションで水環境分野にどのような仕事があるか確認し、気になる団体のセッションに参加いただくことも、どちらかのみ参加いただくことも可能です。また、各参加団体セッションは30分間を3回実施しますので、複数の団体の話を聞くことも可能です。

本説明会は過去に6回実施され、いずれも多く多くの学生の皆さんに参加いただいております。「水に関連する企業が集中していて業界研究に役立った」、「水環境に関わる広い職種についての話を聞くことができた」、「各企業の様々な立場の方の話を聞けた」といった声が寄せられています。

比較的少人数での説明会となっていますので、採用担当の方から詳しい話を聞くことができるいい機会になるかと思えます。是非、いろいろな企業・研究機関の話を聞き、水環境分野の様々な仕事について理解を深めてみてください。

本説明会は水環境に関する仕事に興味がある方であれば、来年度就職活動の対象外の方や非会員の方でも参加可能です。

### <実施概要>

日 時 : 2025年3月19日(水) 12:30～15:00

1部 ショートプレゼンテーション 12:30～13:00

2部 各参加団体セッション 13:10～15:00

場 所 : 北海道大学工学部アカデミックラウンジ1、2  
(17・18日のポスター会場1と同じ会場)

参加団体 : 12団体 (50音順、敬称略)

いであ株式会社／オリジナル設計株式会社／三機工業株式会社

株式会社神鋼環境ソリューション／水ing株式会社

住友重機械エンバィロメント株式会社／月島JFEアクアソリューション株式会社

東京水道株式会社／株式会社西原環境／株式会社日立プラントサービス

株式会社フソウ／メタウォーター株式会社

参加費 : 無料

事前申込 : 不要

※実施にかかる詳細は、学会HP等をご確認ください。

## 公益社団法人日本水環境学会 団体会員

(2025年1月1日現在)

- 愛知県環境調査センター
- アイデックスラボラトリーズ株式会社
- 青森県
- 株式会社秋田県分析化学センター
- アサヒグループエンジニアリング株式会社
- アジレント・テクノロジー株式会社
- 石川県
- いであ株式会社
- 茨城県霞ヶ浦環境科学センター
- 茨城県企業局
- 岩手県環境保健研究センター
- (公社) 岩手県浄化槽協会
- 岩手県浄化槽検査センター
- 株式会社ウエリントンラボラトリーズジャパン
- 株式会社ウォーターエージェンシー
- 株式会社ウォーターテック
- 宇部マテリアルズ株式会社
- ABCプランニング株式会社
- 株式会社NJS
- 荏原実業株式会社
- 大分市上下水道局
- 大阪市建設局
- オリジナル設計株式会社
- オルガノ株式会社
- (公財) 海洋生物環境研究所
- 花王株式会社
- 香川県環境保健研究センター
- 鹿島建設株式会社
- (公財) 河川財団
- 神奈川県企業庁企業局
- 神奈川県内広域水道企業団
- カナデビア株式会社
- 川崎市環境局環境総合研究所
- 川崎市上下水道局
- 北九州市保健環境研究所
- 北里大学獣医学部 図書館
- 株式会社九州開発エンジニアリング
- 京都市上下水道局
- 京都大学 桂図書館
- 協和機電工業株式会社
- 株式会社クボタ
- 熊本県保健環境科学研究所
- 栗田工業株式会社
- 株式会社コープクリーン
- (公財) 国際エメックスセンター
- 国土交通省東北地方整備局
- 東北技術事務所
- サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社
- 埼玉県環境部
- 埼玉県水質管理センター
- (一財) 佐賀県環境科学検査協会
- 札幌市下水道河川局
- 札幌市水道局
- 三機工業株式会社
- (一社) 産業環境管理協会
- サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社
- JFEアドバンテック株式会社
- 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
- 静岡県環境衛生科学研究所
- 株式会社神鋼環境ソリューション
- (国研) 水産研究・教育機構
- 水産技術研究所
- 水道機工株式会社
- 水ing株式会社
- 住友重機械エンバイロメント株式会社
- (独) 製品評価技術基盤機構
- 西部環境調査株式会社
- 積水化学工業株式会社
- 仙台市水道局
- セントラル科学株式会社
- 株式会社総合水研究所
- 株式会社ダイキアクシス
- 大成建設株式会社
- 株式会社ダイセル
- ダイセン・メンブレン・システムズ株式会社
- 株式会社タクマ
- 千葉県企業局
- 株式会社中央設計技術研究所
- 月島JFEアクアソリューション株式会社
- (一財) 電力中央研究所
- サステナブルシステム研究本部
- 東亜ディーケーケー株式会社
- 東京水道株式会社
- 株式会社東京設計事務所
- (公財) 東京都環境公社
- 東京都環境科学研究所
- 東京都下水道局
- 東京都下水道サービス株式会社
- 東京都健康安全研究センター
- 東芝インフラシステムズ株式会社
- 株式会社東洋環境分析センター
- 東レ株式会社
- (一社) 土壌環境センター
- 富山県環境科学センター
- 内藤環境管理株式会社
- 長崎県環境保健研究センター
- 長野県諏訪湖環境研究センター
- 名古屋市環境科学調査センター
- 奈良県景観・環境総合センター
- 株式会社西原環境
- 株式会社日水コン
- 日本製鉄株式会社
- (公財) 日本環境整備教育センター
- (公社) 日本下水道協会
- 地方共同法人日本下水道事業団
- (公財) 日本下水道新技術機構
- 日本水工設計株式会社
- (公社) 日本水道協会
- 日本石鹸洗剤工業会
- (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構
- 配水用ポリエチレンパイプシステム協会
- 阪神水道企業団
- ビーエルテック株式会社
- 株式会社日立製作所
- 株式会社日立プラントサービス
- (公財) ひょうご環境創造協会
- 兵庫県農政環境部
- (一財) 広島県環境保健協会
- (公財) 琵琶湖・淀川水質保全機構
- 福井県衛生環境研究センター
- 福岡市保健環境研究所
- 福島県環境創造センター
- 株式会社フジタ技術センター
- 株式会社フソウ
- フナテック株式会社
- 前澤工業株式会社
- 三菱ケミカル株式会社
- 三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社
- (公社) 宮城県生活環境事業協会
- 宮城県保健環境センター
- 株式会社明電舎
- メタウォーター株式会社
- 株式会社ヤクルト本社 中央研究所
- (公財) 山口県予防保健協会
- 食品環境検査センター
- 株式会社ヤマト
- 横河電機株式会社
- 横浜市環境創造局
- 横浜市水道局
- ライオン株式会社
- ワセダ技研株式会社
- マークの会員情報が掲載されています

## 公益社団法人日本水環境学会について

日本水環境学会は1971年に日本水質汚濁研究会として設立され、81年の社団法人化、91年の日本水環境学会への改称、2012年の公益社団法人化を経て、現在に至っています。当学会は、水環境に関連する分野の学術的調査や研究、知識の普及、健全な水環境の保全と創造への寄与、学術・文化の発展への貢献を活動目的としており、学術雑誌の発刊、年会とシンポジウムの開催、各種表彰活動、英文学術雑誌の発行や国際会議などの開催、セミナーの開催などを行っています。2025年1月現在の役員等は下記の通りです。

**会 長** 池 道彦

**副 会 長** 亀屋 隆志 中島 典之 江口 正浩

**常務理事** 藤原 拓

**理 事** 井坂 和一 市木 敦之 越後 信哉 大河内 由美子 岡部 聡  
 鎌田 素之 川上 智規 久場 隆広 栗栖 太 佐藤 久  
 佐野 大輔 清 和成 多川 正 田畑 彰久 中井 智司  
 西川 可穂子 見島 伊織 山口 太秀 山田 一裕 吉田 浩介

**監 事** 井上 隆信 恩田 建介 渡邊 智秀

**顧 問** 迫田 章義 古米 弘明 小野 芳朗 松井 佳彦 西嶋 渉

**運営幹事** 浅田 安廣 井口 晃徳 井上 大介 小熊 久美子 小野寺 崇  
 春日 郁朗 蒲池 一将 金田一 智規 鈴木 裕識 長谷部 吉昭  
 端 昭彦 羽深 昭 濱 武英 久本 祐資 日高 平  
 藤井 学 三宅 祐一 宮本 信一 矢吹 芳教 山村 寛  
 利谷 翔平 渡部 春奈

水環境企業・研究機関情報誌に関する本学内の問い合わせ

■水環境企業・研究機関情報誌への掲載について

『採用活動において、弊社を何で知ったのか?の問いに「水環境学会で配布された冊子」と回答があり、非常に効果があることが分かった』

掲載会社からいただいたコメントです。

水環境企業・研究機関情報誌は年1回発行しております。

掲載を検討される企業におかれましては、ぜひともお問い合わせください。

問い合わせ連絡先は以下の通りです。

◆水環境企業・研究機関情報誌：

編集協力（問い合わせ先）：日本水道新聞社 出版企画事業部 03-3264-6724

企画・発行 **公益社団法人日本水環境学会**

<https://www.jswe.or.jp>

〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7 グリーンプラザ深川常盤201

TEL 03(3632)5351 FAX 03(3632)5352

編集 株式会社日本水道新聞社